

会 議 録

会議の名称	第26期東村山市青少年委員の定例会（第4回）				
開催日時	平成27年7月2日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： （委員） 藤澤功明会長・森田明美副会長・池田みのり委員・小島恵子委員・佐々木悟子委員・鈴木史秋委員・多田啓子委員・長谷川篤人委員・飛澤誠委員・宮崎真吾委員・横田昇委員・横山大吾委員</p> <p>社会教育課：平島課長・朝岡係長・天野 （市事務局）</p> <p>●欠席者： （委員） 木村一樹委員・児玉光昭委員・宮崎貴幸委員</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会長挨拶 2. 社会教育課長挨拶 3. 協議事項 4. 活動報告 5. 事務連絡 6. 事務局より 				
問い合わせ先	教育委員会教育部社会教育課社会教育係 担当者名 朝岡・天野 電話番号 042-393-5111（内線3515） ファックス番号 042-397-5431				
会 議 経 過					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会長 挨拶 2. 社会教育課長 挨拶 こんばんは。先日は、育成塾第5回「バス研修」の实地踏査にご協力いただきまして、ありがとうございます。本日は、協議事項が多い会議となりますが、よろしくお願ひします。 3. 協議事項 平成27年度「輝け！東村山っ子育成塾」 司会：森田副会長 （1）第3回「世代間交流(案)」について ●・日程、スタッフ配置、準備物の確認を行う。 ●・吹矢協会からの希望で、班ごとの吹矢の順番が一巡するまでは、一斉の休憩はとらないこととする。給水やトイレなどの休憩をとりたい子どもたちは、待ち時間に適宜休憩をとる。 司会：森田副会長 （2）第4回「保育体験代替案」について ●・保育体験の代替案として、午後のプログラム「A案：東村山市のごみの現状・ゴミ収集車の投入 					

体験」、「B案：妊婦体験等」、「C案：選挙体験」があるが、いずれがよろしいか。

- B案を行うとしたならば、男子も行うのか。
- 男女関係なく体験することで、男子は女性のからだへの理解やいたわりが深まり、いのちの大切さをより学ぶことができるのではないか。
- 午後の庁舎見学のあとのプログラムとすると、子どもたちが疲れてしまうので、午後一番のプログラムとしたらどうか。
- 午後一番に教育長のお話しをいただく予定のため、教育長の予定を変えていただくことが可能か確認します。
- A案やC案は、学校で行っている可能性が高いので、B案がよいのではないか。導入の仕方としては、健康面の話しなどをしてから妊婦体験を行うというのはどうか。
- B案でよろしい方は挙手をお願いします。
(異議なく了承された。)
- 妊婦体験の後から赤ちゃんの抱っこ体験(人形)を行うのなら、その過程が分かりづらいのではないか。妊婦の方を呼んで、お話しを伺うのはどうか。
- 妊婦体験の補助具を男子にもつけてもらうことで、お腹がどんどん大きくなることなどの体の変化、大変さなどの課程を学ぶために、保健師の方以外のお話しを聞くのは、いい機会だと思う。
- 確かに、出産の話なども伺いたいが、今回は、妊産婦の方を呼ぶのは難しいだろう。次年度以降の検討事項として、今回は健康面を導入として、妊婦体験や赤ちゃんの抱っこ体験などを行うということでよろしいか。
(異議なく了承された。)
- 午前のプログラムのAED体験だが、事務局に交渉してもらい、決定ということでよろしいか。
(異議なく了承された。)
- 通知文は本来、育成塾の前の週に行われる会議で本決定した後に送付していたが、8月は育成塾の前日が定例会となる。今回については、暫定的な日程表での通知文を7月下旬に送付ということでよろしいか。
(異議なく了承された。)

司会：森田副会長

(3)第5回「バス研修(案)」について

- 『神奈川県立生命の星・地球博物館』に实地踏査をしてきた。展示物についてのクイズを解きながら観覧することや、生き物を描くワークショップにも参加することができる。
 - ・行先、日程表の確認を行う。
 - ・行先を神奈川県小田原市を予定しているが、火山の噴火の警戒レベルが上がった場合、第2候補として多摩動物園でよろしいか。
(異議なく了承された。)
- バスで移動するので、名札は使用しないが、名札フォルダーに入場券を入れて使用する。
- 博物館内は班行動で観覧する。
- おこづかいの使い道はどのようにするか。
- 博物館での飲み物やお土産購入に限定し、SAでは買い物はしない。

司会：森田副会長

4. 活動報告

①平成27年輝け！東村山っ子育成塾⑤「バス研修」担当者打合せ

【日時】6月10日(水)18:30~20:00

【場所】教育委員会室

協議事項で、報告もかねて議論された。

②平成27年度輝け！東村山っ子育成塾②「福祉体験」

【日時】6月14日(日)9:00~

【場所】市民センター第1、2、3会議室

- 子どもたちが話を飽きずに聞けるかが心配だったが、手話をみながら真剣に聞いている姿が見られ、よかった。聴覚障害者の方が、様々な道具を準備して頂き、積極的に子どもたちに関わっていただいたことに感謝している。

- 普段、なかなか接する機会のない方々や手話にふれることができ、子どもたちも、熱心に話を聞き、積極的に質問している姿が素晴らしかった。みんなが輪になって食事して交流できたのもよかった。
- 昔は、手話を覚えると話すことができないという偏見から、手話が禁止されていた時代や差別があったという貴重な話を聞くことができた。身振り手振りを交え、表情豊かに話して、交流している姿がよかった。
- 導入としてDVDを先にみてからのほうが、耳の聞こえない世界で生きることがイメージしやすくなったのではないかと。ふりかえりでは、飽きている子どもたちも見受けられたので、ふりかえりを工夫していきたい。
- 子どもたちから、たくさんの質問がでたのがよかった。
昼食の時間では、自然と打ち解けている様子がみられ、よかった。
- 聴覚障害者の方々が、楽しくして下さって、なごやかな雰囲気だった。午後からの進行を委員で行ってしまったので、日直リーダーの役割を再度確認したい。
- 聴覚障害者の方のお話を聞く前に、手話とはどんなものかという導入をいれ、3人の方の話しの合間に、手話の説明を入れた方がより、わかりやすくなるのではないかと。また、耳栓をして実際に耳が聞こえない体験を取り入れた方がよりよいプログラムになるのではないかと。
- 障害のある人と接することで、社会への思いやりが学ぶことができ、育成塾の目標を達成することができたのではないかと。
- 聴覚障害者の方のお話しのなかに、両親との関わりや、いじめの話や日常生活用具の話などの実体験を話して下さり、貴重な話を聞くことができた。ゲームでは、言葉を使わずに伝える難しさを体験することができた。
- 聞きながら手の動きをみることは、子どもたちが疲れているようだったので、急遽休憩を入れさせていただいた。障害をもつ3人の方と子どもたちのコミュニケーションの取り方について、手話サークルの方々とともに打合せをすればよかった。

③平成 27 年度 輝け！東村山っ子育成塾③担当者打合せ

【日時】6月16日(火)18:30~19:30

【場所】教育委員会室

協議事項で、報告もかねて議論された。

④平成 27 年度 輝け！東村山っ子育成塾⑤「バス研修」実踏

【日時】6月28日(日)

【場所】神奈川県立生命の星・地球博物館 (神奈川県小田原市)

協議事項で、報告もかねて議論された。

⑤平成 27 年度 輝け！東村山っ子育成塾③「世代間交流」担当者打合せ

【日時】6月29日(月)18:30~19:30

【場所】教育委員会室

協議事項で、報告もかねて議論された。

司会：森田副会長

5 事務連絡

①平成 27 年度 輝け！東村山っ子育成塾③「世代間交流」

【日時】7月12日(日)8:10~15:30

【場所】市民センター第1、2、3会議室

②平成 27 年度 多摩地区青少年委員会連絡協議会 (第1回)

【日時】(1)委員会 7月21日(火)19:00~19:30

(2)理事会 7月21日(火)19:30~21:00

【場所】立川市子ども未来センター 2階202会議室

進行：事務局

6 事務局より

- ・インターンシップ生の受け入れについて

- ・なぎさ体験塾の申し込み、当確状況について
- ・なぎさ体験塾 小平市との打合せについて

以上